



豊東小だより

令和2年12月1日 12月号
練馬区立豊玉東小学校
校長 梅津 靖子

協力して仕事をする

校長 梅津 靖子

暑さ厳しい8月の後半から始まった2学期もあとひと月となり、いよいよ2学期のまとめの月となりました。今月は、これまでの学校や家庭での学習や生活を振り返り、学習への取組意欲はどうだったか、学んだことがどれくらい身に付いているのかを確認する月です。

まずは、12月の保護者会の日に計画されている各学年の学習発表会を、ご参観ください。調べ学習や話し合い活動に制限がある中ではありますが、日々の学習を通して身に付けている力を発揮しようと、各学年、それぞれの教科・領域の学習に熱心に取り組み、準備をしているところです。発表を通して、どのような力を伸ばすことができたのかを見取っていただき、お子さんに伝えて褒めていただきたいと思います。また、今年度は、2学期末でのあゆみの配布がありませんので、ワークテストやその直しの状況、日々の小テストやノートの内容など、改めてお子さんと一緒に見直し、学習の習熟の状況等をふり返ってみてください。さらに、学習だけでなく、先生や友達との挨拶はできていたか、ルールを守って生活できていたか、友達の嫌がることをしていなかったかなど、人との関わり方についても振り返ってみたいものです。

11月の生活目標は、「みんなで協力して仕事をしましょう」でした。学校生活をよりよいものにするためには、協力することはとても大切です。そして、協力するためには、一人一人が取り組むべき役割を、責任をもって行う必要があります。係や委員会などでは、決められた仕事を行うにあたっては、その役割に責任をもつというわけですから、単に「する・しない」ではなく、そこに関わる一人一人が何をどのようにすれば満足のいく働きができるのかを考えて、精一杯取り組んでみるのが大事になってきます。すすんで取り組もうとしていたか、工夫して活動できたかなど、具体的な場面を思い起こして振り返ることができるといいですね。また、学校生活の中では、決められた仕事だけでなく、皆が気持ちよく生活するために必要な一人一人の仕事(働き)もあります。これは、決められた仕事ではないので、その時、その場で、自分で考え、判断して行う仕事になるわけです。11月のある日のこと、昼休みが終わり、大方の児童が校庭を後にした頃、6年生の児童が、朝礼台の上に、短縄が何本も置かれたままになっていると言うので、一緒に朝礼台の方へ行ってみると、短縄やトレーナーなどが無造作に置かれています。そうしたら、6年生の児童は、それらの物をさっと持ち、落とし物ボックスの所に運び、1本1本の縄を丁寧に結んでくれたのです。「**気付き、判断し、行動する**」力は、社会に出るまでに、ぜひとも身に付けさせたい力です。自分のことではなくても、**気付き、判断し、他者のために行動する**ことができている6年生の行動は、お手本となる行動でした。そのように考えると、このコロナ禍では、感染を予防するために一人一人がすべきことというのは、協力して行う仕事と言ってもいいかもしれません。こまめに手を洗うことやソーシャルディスタンスを守ること、マスクを着用することは、自分を守るためだけではなく、自分以外の人を守るためにすることだからです。「**気付き、判断し、行動する**」ことを、感染予防の行う中でも、実践したいものです。



クリーン運動

11月19日、「惑星の観察をしましょう。」という田中先生の声かけに、職員室の先生たちと誘い合って、急遽天体観測をすることになりました。月の近くに木星と土星が接近しているのがよく見えるというので、校庭は大賑わいです。さらに、もうすぐに、野口聡一さんが乗っている宇宙ステーション(ISS)が、南南西の空からやってくるというので、心待ちにしていると、強い光を放ち移動してくる星が見えてきました。実は、これが、宇宙ステーション(ISS)でした。世界の80ヶ国以上の研究者が、ISSに滞在する宇宙飛行士と協力して、新薬の開発などの数多くの実験や観察を行っています。協力して仕事することが、未来の希望につながっています。まさに、人類の夢を乗せて輝く星そのものですね。心を躍らされる瞬間でした。不安な気持ちになるニュースばかりの昨今ですが、時には空を見上げ、月や星を眺めながら、夢や希望をもつことを忘れないでいたいものだと思います。冬は、星々がひととき美しく輝く季節です。また、12月の下旬にかけて、木星と土星が近づいていくそうです。赤く輝く火星もきれいです。ISSも、これからも見るができるようですので、暖かくして、時には、天体観測を試みるのもよいかもしれません。